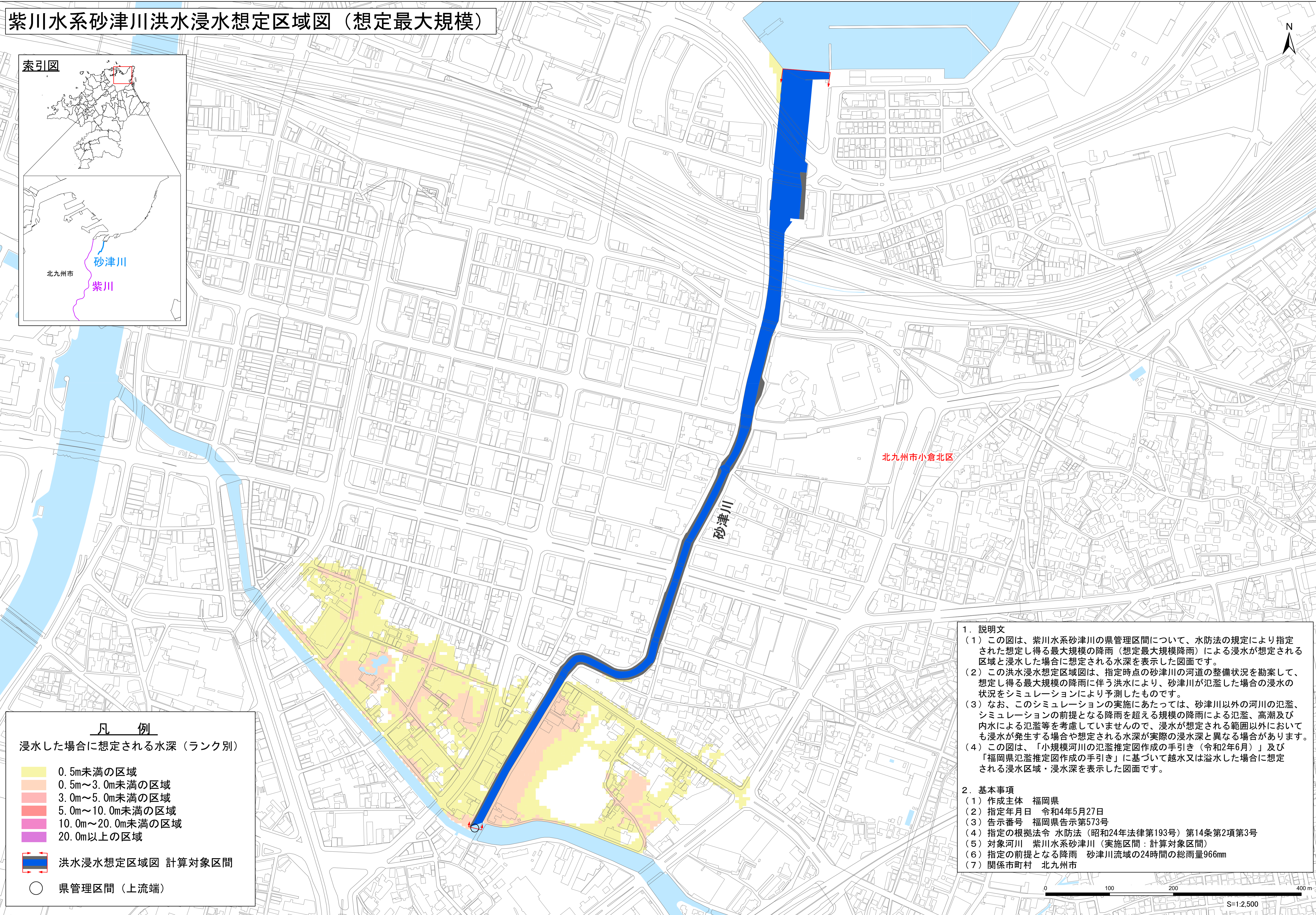
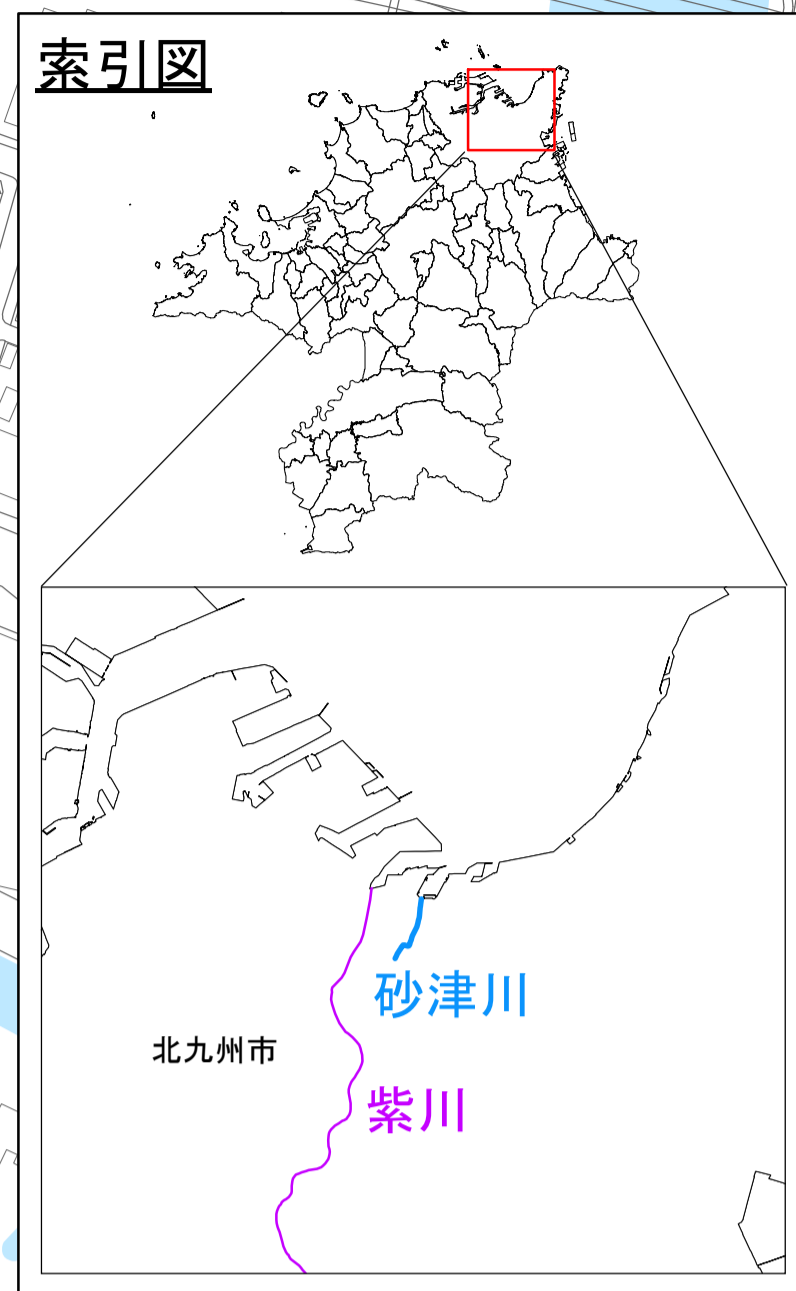


紫川水系砂津川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

索引図



凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

洪水浸水想定区域図 計算対象区間

県管理区間（上流端）

1. 説明文
 - (1) この図は、紫川水系砂津川の県管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模降雨）による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の砂津川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により、砂津川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、砂津川以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、浸水が想定される範囲以外においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
 - (4) この図は、「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き（令和2年6月）」及び「福岡県氾濫推定図作成の手引き」に基づいて越水又は溢水した場合に想定される浸水区域・浸水深を表示した図面です。
2. 基本事項
 - (1) 作成主体 福岡県
 - (2) 指定年月日 令和4年5月27日
 - (3) 告示番号 福岡県告示第573号
 - (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項第3号
 - (5) 対象河川 紫川水系砂津川（実施区間：計算対象区間）
 - (6) 指定の前提となる降雨 砂津川流域の24時間の総雨量966mm
 - (7) 関係市町村 北九州市

0 100 200 400 m S=1:2,500